

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課		■担当係	農地林務係
■評価事業名称	林業振興事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	050100 - 104	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	06 森林資源の保全と多様な価値の活用		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市森林整備計画			
■事業の目的と概要	森林を適正に管理し、森林の有する公益的機能の維持増進を図るための事業。各種届出の受理、現地調査及び巡視並びに座談会の開催等の事務のほか、林業振興計画策定等の事務(5年毎)を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	林業振興事業	森林所有者	<ul style="list-style-type: none"> ・愛鳥の森管理 5月～翌年3月 ・森林管理巡視 40日 ・伐採届受理 60件 ・林業座談会 5会場100名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛鳥の森管理 5月～翌年3月 ・森林管理巡視 40日 ・伐採届受理 120件 ・林業説明会 1会場、135名参加

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費		8	9	10	
人件費	2,168	745	1,586	3,205	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,168	753	1,595	3,215	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	林業座談会出席人数	71人	100人	86人	135人	座談会出席者数
	林業座談会の会場数	4会場	5会場	5会場	1会場	座談会開催会場数
	森林管理巡視業務	5,962ha	5,962ha	5,962ha	5,962ha	私有林の管理巡視面積

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

私有林の巡視により森林災害等の未然防止に効果をあげている。林業座談会については、平成29年度、林業説明会として市森林組合総代会と併せて開催する形式により開き、十分な林業関係者に林業施策等の説明を行うことができた。

問題点・課題等

特になし。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了